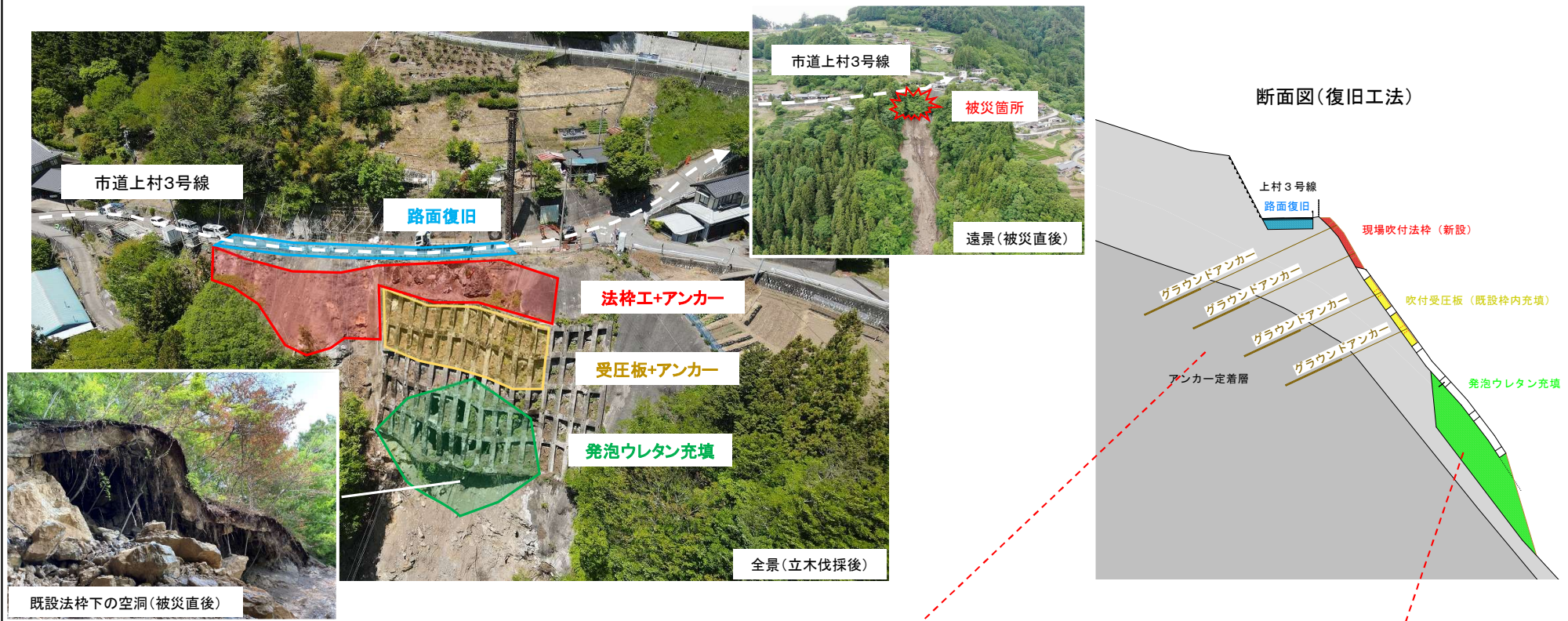


令和5・6年度 土木施設補助災害復旧事業 道路災害復旧工事  
(市道上村3号線 飯田市 上村下栗)

令和7年第1回定例会  
議案第37号 補足説明資料

工事概要図



■ 工事概要

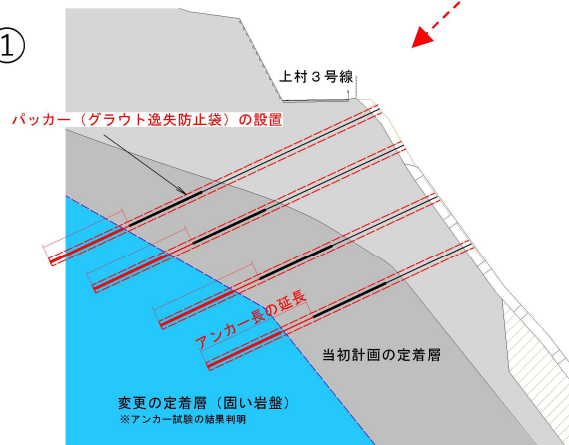
( )は変更前

- ・復旧延長 L=53.2m W=3.9~4.6m
- 舗装工 A=192m<sup>2</sup>
- 吹付枠工 L=434m (473m)
- 枠内吹付工 A=233m<sup>2</sup> (230m<sup>2</sup>)
- アンカー工 N=74本
- ウレタン発泡工 V=827m<sup>3</sup> (398m<sup>3</sup>)
- モルタル吹付工 A=257m<sup>2</sup> (201m<sup>2</sup>)
- 足場工 一式
- 仮設モルタル吹付工 A=0m<sup>2</sup> (69m<sup>2</sup>)
- 索道工 一式
- 伐採工 一式
- 誘導員 一式
- アンカー引抜試験費 一式

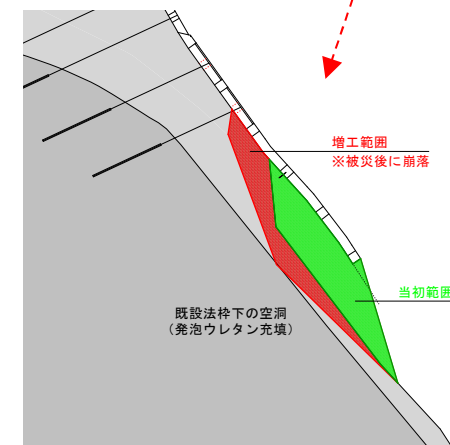
■ 当初請負額 198,407,000円

■ 変更請負額 281,336,000円 (82,929,000円 増)

①



②



＜変更増の主な要因＞

- ①着工後、アンカー引抜試験を実施したところ、当初アンカー定着位置としていた地盤が想定以上に脆いことが判明したため、堅固な地層が確認された位置にアンカー定着体を設置すべくアンカー長を変更した。また、アンカー定着のためのグラウトが岩盤内の脆い部分(空洞)に逸失するのを防止するため、パッカーを装着した。
- ②被災当時(R5.6)からウレタン充填工の施工開始(R6.5)までの降雨等により既設法枠下の崩落が進み、ウレタン充填工が増工となった。